



日独 ジョイント レクチャー (*)

「全国規模での研究用臨床データ活用：
ドイツ医療情報学イニシアチブの **MIRACUM** コンソーシアム」

この度、ハイデルベルク大学の研究機関であるハインリッヒランツ デジタルヘルスセンター (The Heinrich-Lanz Centre for Digital Health) のトーマス ガンスラント教授をドイツから迎え、臨床データの利活用をテーマにご講演をいただきます。

構造化された臨床データは日常的な臨床ケアの過程で日々大量に生成されていくが、それらの研究目的での使用は多くの障壁によって妨げられている。これらの問題を解決すべく、**MIRACUM** コンソーシアム (Medical Informatics in Research and Care in University Medicine 大学医学研究・ケアのための医療情報学) が 2015 年にドイツで設立された。**MIRACUM** では 10 のドイツの大学病院が連携し、データ構造とインターフェースといった技術面やデータ保護規則やガバナンスをカバーしながら、問題解決に全国規模で取り組んでおり、各地点のデータ基盤を確立し、またそれらの活用法を臨床ユースケースで示すといった活動を行っている。本コンソーシアムは、相互運用可能な基盤の整備を目指した医療情報学に関する 4 つのコンソーシアムの一つとして、ドイツ連邦教育研究省からの助成を受けて設立されたが、そのうちで最大規模を誇る。

本発表では、課題、国際標準規格に適合したプラットフォームをベースにした実装戦略、現在までの研究成果、そしてデータ基盤の将来的な臨床・科学的応用への展望を提示する。

ガンスラント教授のレクチャーに続き、京都大学大学院医学研究科 医療情報学分野の黒田 知宏 教授にご解説をいただきます。

どなたにもご参加いただけるイベントですので、皆様のお越しを心よりお待ちしております。レクチャーは英語で開催されます。

記

日時: 2019 年 12 月 4 日 (水) 18 : 15 ~ 19 : 45 (受付 18 : 00~)

会場: 京都大学吉田国際交流会館 地下 1 階 講義室 4 (吉田南構内)

スケジュール

18:15 開会挨拶

18:20 レクチャー

ハイデルベルク大学医学部マンハイム ハイน์リッヒランツ デジタルヘルス
センター トーマス ガンスラント教授

「ドイツ全国規模での研究用臨床データ活用：MIRACUM コンソーシアム」

19:00 解説

京都大学 黒田 知宏 教授（解説）

19:20 質疑応答、ディスカッション

19:45 レセプション（於：ハイデルベルク大学京都オフィス）

20:30 閉会

司会進行： サビーネ シェンク（ハイデルベルク大学 京都オフィス）

鮎川 慧（京都大学 学術研究支援室）

(*)日独ジョイントレクチャーは、相互にオフィスを持つハイデルベルク大学と京都大学が両大学の学術交流の深化と発展を記として不定期に開催されるものです。参加お申し込みは、12月2日（月）までに下記のメールアドレス宛にご連絡ください。

ハイデルベルク大学 京都オフィス (HUOK)

Email: info@huok.uni-heidelberg.de

Tel: 075-753-5413

講師プロフィール

トーマス ガンスラント教授

ハイデルベルク大学医学部マンハイム ハイน์リッヒランツ デジタルヘルスセンター (The Heinrich-Lanz Centre for Digital Health)

医学を修了後、ミュンスター大学病院、エアランゲン大学、エアランゲン大学病院で研究を深め、博士学位、大学教授資格を医療情報学で取得。医療情報学分野の様々な研究プロジェクトに参画し、2018年にハイデルベルク大学医療情報学の教授として招聘。

黒田 知宏 教授

京都大学大学院医学研究科 医療情報学分野

京都大学工学部を卒業後、奈良先端科学技術大学院大学で博士号を取得、京都大学で研究を進める。遠隔医療、アバター型通信、福祉工学の分野で研究を深める。